

学 習 日 誌

9月 1日 (金)	講 師	東海大学 助川幸逸郎教授 (文化社会学部)	
出席者数	84名	記 録 者	4年 9 班 岡 臣一
講 座 名	文学講座2 源氏物語2 最強現代語訳と最高映像化作品をさぐる。		
プログラム担当者	文学講座グループ		
時 間・場 所	13:30 ~15:30。	第1集会室	



【学習内容】

8月18日開催の文学講座1「源氏物語1」どこから始める?に続いて、第2回講座で「源氏物語」「若菜の上巻」の最適現代語訳について講義。

ストーリーは光源氏と女三宮は結婚、しかし柏木は女三宮に恋し、柏木が蹴鞠遊び中に女三宮を目撃する場面。

下記作者の語訳について助川先生の私見を含めて講義、難しい文言、人物についてプロジェクターの写真で補足説明された。

記

1.作者名

:原文(渋沢栄一校訂による):与謝野晶子:谷崎潤一郎:瀬戸内寂聴:林望:角田光代:桐野夏生(ナイン・ストリート・オブ・ゲンジ)所収:林真理子(六条御息所 源氏がたり・小説源氏物語)

2.助川先生推奨の本

1位。角田光代:理由、同時代の長編小説として体験したい読者向け。

2位。林望:理由、読みやすさ、漫画化、映像化に近いレベル。

3位。瀬戸内寂聴:理由、読みやすい、完読した気分になる。

4位。助川先生がイメージする「源氏物語」は桐野夏生。

3.NHK 来年の大河ドラマ「光る君へ」のコメント。

不安視している。

【感想】

難しい表現、知らない人物についてプロジェクタースクリーン写真で補足説明があったので、良く理解できました。

受講生も前回77名より多い84名が受講しました。

—以上—